



家庭通信 9月号



2023年8月29日
学校法人 織田学園
おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健便り等もHPでご確認いただけます

園内で飼い始めた鈴虫の音色に誘われて、小さいクラスの子どもたちが職員室前にやってきます。静かに飼育ケースに視線を向けて耳を澄まして音色に聞き入っている子ども、羽音を立てている様子をじいっと見つめている子ども、五感を使って何かを感じ取っています。

心地よい音はリラックス効果もあるので、虫の音色に心が落ち着いた気持ちになっているのかもしれない。乳幼児の時期は五感を通した刺激が一番脳に入りやすいことが脳科学で解明されています。特に、言葉を持たない時期は五感の刺激がダイレクトに脳に働きかけることができるのです。鈴虫の音色に気づいた子どもに、「リーンリーンって鳴いているね」など言葉を添えて感覚に意味づけをしていくことも重要です。

9月は暑さも和らぎ、空の青さや、雲の流れ、虫の音の変化、そして大人もうれしい美味しい秋の味覚など五感を刺激するものが沢山ある季節です。しかし、同時に夏の疲れが出やすい時期でもあります。疲れすぎると五感が鈍り、ストレスを感じやすくなるとも言われています。大人にとっても五感を通して脳へ刺激を与えることは、心身ともにストレスを回避する効果を得ることができるようです。

今月は五感通した体験を大事に、季節の変化を上手に乗り越えられるようにしていきます。

9月のねらい

*3.4.5歳児のねらいは、9月～作品展までのねらいです。

<年長>

- 様々な材料や道具を使い、試したり考えたりしながら作りたい物や場を作ることの面白さや満足感を感じる。
- 自分の思いや考えを相手にわかるように伝えたり、相手の話に耳を傾けたりして、自分たちなりに考えたことを進めていくことを楽しむ。
- 様々な運動遊びに興味を持って取り組み、全身を動かして遊ぶことを楽しむ。

<年中>

- 保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 夏から秋への季節の変化に興味関心を持ち身近な自然に触れる。
- 自分の好きな遊びをする中で友達との関わりを楽しむ。
- 様々な素材に触れながら、自分たちなりに考えたり、クラスの友達と力を合わせて作ったりすることを楽しむ。

<年少>

- 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
- 保育者や友達と同じ場で遊ぶことを楽しむ。
- 保育者と一緒に体を十分に動かす心地よさを感じる。
- 自分でやりたい遊びを選んで十分に楽しむ。
- いろいろな素材に触れ、自分なりに工夫して作ることを楽しむ。

<2歳児>

- 自分の思い（嬉しかったこと、楽しかったこと、いやだったこと）を言葉で伝えようとする。
- 園庭や散歩に出かけ身体を動かすことを楽しむ。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています